

多様な教育実践校の 入学者選抜について

大阪府教育庁 教育振興室
高校教育改革課

指定校：府立西成高等学校及び府立岬高等学校

愛称：ステップスクール

「1人ひとりのステップやペースに合わせた成長を支える学校」を連想できる愛称として決定

ステップスクールとは、

- 人間関係をうまく築きたい ● 高校在学中にさまざまな経験をつみたい
- 集団での学びに不安があるが、充実した高校生活を送りたい

などの想いを実現できる全日制の学校です

ステップスクールが大切にすること

● 安心できる環境づくり

取組み内容・・・SCの常駐化をはじめとする充実したサポート体制 等

● 個性を大切にする学習環境

取組み内容・・・1クラス30人程度の徹底した少人数クラス編制や習熟度別学習の導入 等

● 地域とつながるカリキュラム

取組み内容・・・地域企業などと連携した体験型授業や職業体験 等



特徴①	【面接】と【学力検査+調査書】を2：1の比率で評価	面接重視
特徴②	「対面による面接」と「筆答による面接」のいずれかを受験者が選択	
特徴③	学力検査は3教科（国語、数学、英語）	
特徴④	調査書の評定において評定の高い3教科を2倍	得意を評価



【面接】と【学力検査+調査書】のそれぞれを一定幅に区分し、**群ごとに合格者を決定**

9グループに区分		高校生活に対する意欲等に関する評価（面接）					10段階に区分
		A	B	C	...	J	
これまでの学び等に 関する評価 （学力検査+ 調査書）	1グループ	1群	3群	5群	...	19群	群ごとに 合格者を決定
	2グループ	2群	4群	6群	...	20群	
	3グループ	3群	5群	7群	...	21群	
	⋮	⋮	⋮	⋮	...	⋮	
	9グループ	9群	11群	13群	...	27群	

○ 高校生活に対する意欲等に関する評価（以下「意欲に関する評価」という）

【面接】

- 複数名の面接員にて実施した面接の結果を、A～Jの10段階で評価する
- 「対面による面接（個人面接）」または「筆答による面接」のいずれかから自分の表現しやすい手法を事前に選択することが可能
- 面接の設問内容（対面による面接及び筆答による面接ともに）は事前公表
- 自己申告書を面接の参考資料とする

- これまでの学び等に関する評価（以下「学びに関する評価」という）は、
【学力検査の成績】及び【調査書の評定】の合計点（450点満点）とする。

【学力検査の成績】

- 学力検査は【**国語・数学・英語**】の3教科
- 学力検査問題は**特別入学者選抜における問題の種類**より各高等学校長が選択
- 3教科の評定を合計し、【**225/135**】を乗じて、「学力検査の成績」を算出

教科	国語	数学	英語	素点の計	倍率	学力検査の成績
配点	45点	45点	45点	135点	×225/135	225点

【調査書の評定】

- ① 各学年の評定を以下の表に基づいて、教科※1ごとに合計

※1・・・教科は9教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語）

	3学年の評定	2学年の評定	1学年の評定
倍率	×3	×1	×1

- ② 教科ごとの合計のうち、**評定の高い3教科を2倍**

- ③ 教科の評定を合計し、【**225/300**】を乗じて、「調査書の評定」を算出

	素点の計	倍率	調査書の評定
配点	300点	×225/300	225点

③「意欲に関する評価（10段階）」及び「学びに関する評価（9グループ）」をもとに、

下表を用いて、受験者ごとに属する群を決定する

		意欲に関する評価					
		評価	A	B	C	..	J
グループ	配点（換算点）	900	800	700	..	0	
学びに関する評価	1グループ	$450 \geq \text{得点} > 400$	1群 $1350 \geq \text{合計点} > 1300$	3群 $1250 \geq \text{合計点} > 1200$	5群 $1150 \geq \text{合計点} > 1100$..	19群 $450 \geq \text{合計点} > 400$
	2グループ	$400 \geq \text{得点} > 350$	2群 $1300 \geq \text{合計点} > 1250$	4群 $1200 \geq \text{合計点} > 1150$	6群 $1100 \geq \text{合計点} > 1050$..	20群 $400 \geq \text{合計点} > 350$
	3グループ	$350 \geq \text{得点} > 300$	3群 $1250 \geq \text{合計点} > 1200$	5群 $1150 \geq \text{合計点} > 1100$	7群 $1050 \geq \text{合計点} > 1000$..	21群 $350 \geq \text{合計点} > 300$
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	..	⋮
	9グループ	$50 \geq \text{得点}$	9群 $950 \geq \text{合計点} > 900$	11群 $850 \geq \text{合計点} > 800$	13群 $750 \geq \text{合計点} > 700$..	27群 $50 \geq \text{合計点}$

④ 1群から順に群単位で合格者を決定し、

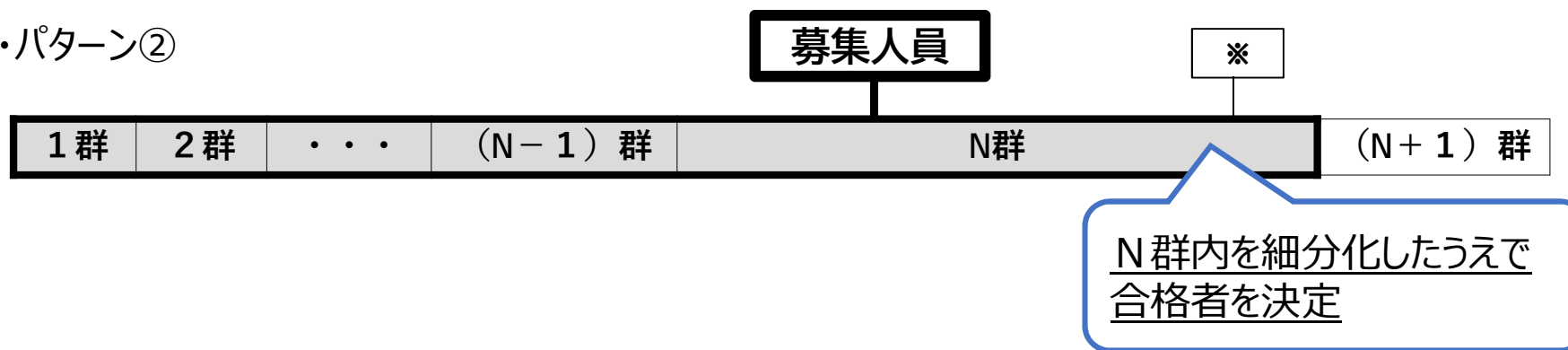
募集人員に達する群（以下「N群」という）**に属する受験者**までを**合格**とする

・パターン①



ただし、「1群からN群に属する人数の計」が「府教育委員会が別に定める人数※」を超過する場合（パターン②）のみ、N群内を面接の結果等に基づいて細分化したうえで、合格者を決定する

・パターン②



「※」は「多様な教育実践校」のコンセプトを踏まえ、学習環境等（施設設備や1学級あたりの生徒数等）を確保できる人数を府教育委員会において別に定める

選抜方法等の詳細については、

「令和6年度 大阪府公立高等学校入学者選抜 実施要項」に合わせて公表（予定）

- 調査書中の教科の評定が無記載となっている場合の取扱い
- 面接の詳細（設問内容・面接形態 等）
- 「1群からN群に属する人数の計」が「府教育委員会が別に定める人数」を超過する場合における合格者の決定方法

※人数については、「令和6年度 大阪府公立高等学校の募集人員」に合わせて公表（予定）